

第10回西条市・東予市・丹原町・小松町合併協議会

新市建設計画策定小委員会

日時：平成15年 5月17日(土)午後1時30分

場所：東予市総合福祉センター 2階会議室

1 開会

2 議事

(1) 審議事項

新市将来構想ダイジェスト版について

新市建設計画(素案)の前回以降の修正点について

3 次回会議の開催日程について

4 閉会

出席委員

石川 昭司	近藤 経美	北野 英昭	戸田 健一
井上 豊實	荃田 元近	久門 渡	森川 義彦
玉井 泰三			

欠席委員

徳永 英光	佐伯 出	今井 正次
-------	------	-------

発言者	議題・発言内容
真鍋局長	<p>委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは、ただ今から西条市・東予市・丹原町・小松町合併協議会新市建設計画策定小委員会の第10回会議を開会いたします。</p> <p>なお、本日の小委員会は、通常のように一般の方の傍聴、また行政関係者等も同室しておりますので、ご了承いただきますようお願いを申し上げます。</p> <p>なお、ここで委員の変更のご報告を申し上げます。規約第7条第1項第3号委員、議会選出委員についてですが、西条市議会改選と議会構成によりまして、平成15年5月9日付をもって、改めまして井上豊實委員が議会選出委員となりましたので、ご報告申し上げます。</p> <p>井上委員、一言よろしく申し上げます。</p>
井上委員	<p>引き続き出てまいりました井上でございます。よろしくお願い申し上げます。</p>
真鍋局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議ですが、規程第5条第2項によりまして、半数以上の出席が必要ということでございますが、本日の委員の参加数、今のところ、12名中9名でございますので、本日の会議が成立しておりますことを、まずご報告を申し上げます。</p> <p>それでは、委員長、議事の方、よろしくお願い申し上げます。</p>
荃田議長	<p>それでは、次第に沿って議事を進めさせていただきますので、よ</p>

発言者	議題・発言内容
荃田議長	<p>ろしくお願いをいたします。</p>
渡部次長	<p>まず、審議事項 について、事務局に説明を求めます。事務局。</p> <p>それでは、「新市将来構想ダイジェスト版について」ご説明させていただきます。</p> <p>その前にお断りさせていただきます。今回の審議内容につきましては、新市の施策についても予定しておりましたが、内容としまして、次回の主要事業と同時にご審議をいただくのが適当であると判断いたしました。次回に審議をお願いいたしたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは、審議事項 「新市将来構想ダイジェスト版について」ご説明いたします。</p> <p>先に策定いたしました新市の将来構想について、項目を絞って要約をして作成しております。別冊でお送りしております案についてご覧いただいたらと思います</p> <p>まず、表紙につきましては、三つのパターンを準備しておりますので、この会議が終了しましたら、委員の皆さんとご相談をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>1枚めくっていただきまして、2ページから3ページのところでございますが、まず、「なぜ、今合併が必要なのでしょうか」というところで、合併の必要性について、将来構想で検証しました内容につきましては、「地方分権への対応」、「少子高齢化への対応」、「地域特性」の3点から説明しております。</p> <p>まず、「地方分権への対応」につきましては、地方分権は、地域における自己決定権を拡大するものであり、地方自治体の権限はよ</p>

発言者	議題・発言内容
渡部次長	<p>り大きなものになりますが、同時に、行政にはこれまで以上に高い能力が求められるようになります。合併によって、行政事務を効率化し、組織を強化し、行政職員の資質、能力を向上させることの必要性。</p> <p>次に、「少子高齢化への対応」につきましては、少子高齢化の進展は2市2町においても顕著であり、高齢化に伴う将来の財政負担の増加に対応するためには、合併によって効率的な行政運営を進めることが不可欠です。さらに地域の活力を高め、流入人口を増やすには、合併により地域として戦略的な対応を進めることの必要性、それとその下に、人口推計のグラフを載せております。</p> <p>「地域特性」につきましては、地域や都市の間での競争が厳しくなる中、今後2市2町が中核的な都市として発展するためには、道前平野に広がる一体性や恵まれた歴史、文化や地勢を合併後のまちづくりに活かし、産業経済の振興や快適な住環境の充実につなげていくことが求められていること。また、合併によって地域内の一体性を高め、広域交通網を整備・活用して、交通利便性を改善していくこともこの地域の発展にとって必要であること。</p> <p>次に、「合併によってどのような効果が期待できるでしょうか」のところ、「生活利便性の向上」、「新たな都市イメージの形成」、「一体的・効果的なまちづくりの展開」、「行財政の効率化・高度化」の4項目について説明しております。</p> <p>「生活利便性の向上」では、合併により生活圏と行政圏との一致が図られることで提供される行政サービスの整合性が高まり、住民の生活利便性が向上します。また、公共施設の相互利用などが可能になるほか、より広い視野から地域の交通体系整備に取り組むこと</p>

発言者	議題・発言内容
渡部次長	<p>ができるため、道路をはじめ、住民の需要に対応した利便性の高い交通網の整備が進むこと。</p> <p>「新たな都市イメージの形成」のところで、新市の人口は、合併によって約11万7,000人となり、愛媛県下では松山市、今治市、新居浜市に次ぐ第4位の規模になります。多様な産業基盤や人的資源を有することで、これまでにない発想による戦略的なまちづくりや幅広い分野を網羅した施策の取り組みを行うことが可能となり、新たな都市イメージの形成が促進され、知名度も向上すること。</p> <p>「一体的・効果的なまちづくりの展開」。合併により土地利用、都市基盤、産業振興、保健・福祉・医療、教育文化、情報化など、さまざまな行政分野において、地域全体を一体的にとらえたまちづくりが行われることにより、行政サービスの非効率性が解消され、効果的な都市戦略を展開することができること。</p> <p>「行財政の効率化・高度化」のところで、人件費の削減効果について、また、ごみ処理、高齢者福祉、障害者福祉、消防等の行政の効率的な運営による効果。また、各市町における事業の重複を避けることができるので、スケールメリットを発揮した事業を展開することができること。合併による人件費やその他の経費の削減効果は、合併後の10年間で約136億円と試算されるとの試算額について記述し、ただし、括弧書きで現在想定可能な条件のもとでの試算であり、今後、国による地方交付税制度の見直し等によっては変動することが予想されますとしております。</p> <p>「合併による問題はないのでしょうか」。ここでは住民意向調査で、住民の皆さんの懸念されていることへの基本的な取り組み姿勢をお示ししております。</p>

発言者	議題・発言内容
渡部次長	<p>めくっていただきまして、4ページから5ページのところで、新市のまちづくりの全体像を紹介しております。まちづくりの将来像「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」、それから合併20年後の目標人口は12万人であること。「まちづくりの方向性について」、これにつきましては、将来構想で確認いたしました4項目、「心豊かな暮らしを支えるまちづくり」、「恵まれた自然を守り、活かしたまちづくり」、「人々の“ちえ”と“ちから”を集めたまちづくり」、「広い視野を持ち、世界にはばたくまちづくり」の四つの方向性について掲載しております。</p> <p>続きまして、6ページから7ページに行きまして、将来構想でお示したリーディングプロジェクトにつきましては、主なものを紹介しております。これは、将来構想時点でのものでありますので、建設計画の策定においては必要性や事業費等を精査しながら策定することとしております。</p> <p>最後のページですが、将来構想の説明と、今後、新市誕生までの流れをお示ししております。</p> <p>なお、空欄になっておりますイラストや最終的な色合い等につきましては、事務局で最終的に検討させていただくことをご了承いただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、説明を終わります。よろしくお願いいたします。</p>
荃田議長	<p>ただいま事務局から説明のありました審議事項 につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、どなたからでもお受けしたいと思います。ございませんか。</p> <p>井上委員、ないですか。</p>

発言者	議題・発言内容
井上委員	この案をもとにして、今度の建設計画の策定をしていくわけでしょう、現に。
荃田議長	事務局。
渡部次長	今回の将来構想、3月末に策定いただきまして、それを住民の皆さんにお知らせするダイジェスト版でございます。建設計画につきましては、3月に策定いたしました将来構想を基礎に具体化させていくこととなります。
荃田議長	ほかにございませんか。  (「なし」の声あり)
荃田議長	玉井委員。
玉井委員	今回、この資料をいただきまして、一つ、一つとらまえてみたら、確かに将来構想、以前確認したものの要約になっておって、反対するようなことはないと思うんですけど、どうもこれを全体通して読むと、妙な違和感みたいなものを感じます。  それはなぜかというのを一生懸命考えていたんです。これは住民の方に一つずつ配って、それをもとにして住民の人がこの一番後に書いているように判断材料として考えてもらうというふうな、その資料なんですよね。僕もこの合併の全体の流れというようなものをいろいろ考えたら、この2ページ目に書いているように、「地方

発言者	議題・発言内容
玉井委員	<p>分権への対応」、「少子高齢化への対応」、「地域特性」、そういうふうなことに対応するものが必要だと。その対応するものとしてこの合併というものは非常に有効な処方箋であるというのは、僕思っているわけなんですけど、その処方箋を処方するにあたって、やっぱり何というんですかね、お医者さんにかかるときによく言うインフォームドコンセント、十分な説明とでもいいでしょうか、これが十分な説明に果たしてなっているのかなというふうに思って、これ、ずっと読んでいったら、住民の人がこれを読んで、果たして十分に、何というんですかね、合併を考えるんだろうかなというのを思いました。例えば、先ほどの2ページのところ、「なぜ、いま合併が必要なんでしょうか」ということだったら、ほかに考えられるような方策とかそういうふうなものを、これ、例えば、お医者さんだったら、ほかにもこういうふうな治療法がありますよとか、それでも合併という治療法が一番いい方法だからこれをお勧めしますというふうな書き方で考えさせてやるべきじゃないかなと思うわけなんですよ。ここの合併というものが、最も有効というんだったら、ほかの方法論をやっぱり列記して、それと比較して、考えてもらうのがいいんじゃないかなと思うわけなんです。</p> <p>ほかにもやっぱり、効果的・効率的なまちづくり、スケールメリットそういうふうなものが出ていますけれども、例えば、3ページ目でしたら、土地利用、都市基盤、保健・福祉・医療などを一体的にとらえて非効率性が解消されるいう、この非効率性が解消されるというのは、これは実は、いろんな統廃合なんかもあり得ることかもわからないよというような、そういうふうなことを住民の方に考えてもらえるような書き方があっていいものじゃないかなと</p>



発言者	議題・発言内容
玉井委員	<p>思うんです。</p> <p>ほかにも、行財政の効率がこうとか、一番上の項目なんか、管理部門が統合され、所属職員を他に振り向けることができますというの、それだったら、どんなふうな組織ができるのかとか、それで職員配置はどういうふうになるのだとかいうものの明示なんかあってもいいんじゃないかと、これ、今言っているのは、先ほどのインフォームドコンセントという考え方に立ったら、そういうふうな考え方もあるんじゃないかなというので、あえていじわるな、この資料に対して言い方をしておるわけなんですけど、これをもらって、一読して、非常に違和感を感じましたので、そういうふうな発言をさせていただいた。これは・・・。</p>
荃田議長	<p>これは、玉井委員さんが違和感を感じることに、事務局に答弁せよというようなことはできないので、そのことにおいて、それは玉井委員の意見、個人の意見だと思うので、それはそれとして、また皆さん、その点についてもご審議いただいて、玉井委員さんの考え方というのは、結局、合併のことにおいて、審議事項において、まだ持って帰ったら反対ができるんだというようなニュアンスに僕は感じるんだけど、そうではなく、合併を前提として進んでいるものに対して、この小委員会ですらどうするかという肉付けをしていかないといかんということの方向になっておるのだと、僕は判断しておるんですよ。</p> <p>だから、それをある程度のことについての整理を委員、委員がしてもらわないと、ここで一応、そういう意見は意見として事務局に答弁さすよりほかにはないんです、僕は。僕は行司役だから。事務局</p>

発言者	議題・発言内容
<p>茎田議長</p>	<p>もそういうことの経験がないものですから、玉井委員が考えておるような答弁ができるかできないかということになる。また、それはあなたの考え方で、これ、委員さんがそれぞれ持ってくるということになったら、そこで前にも後ろにも進まなくなります。そこらは玉井委員さん自体が整理をしていただいてやっていかなかったら、この委員会という審議にならんと僕は思うんですよ。</p> <p>そこらの整理をしてもらって、答弁ができることにおいては事務局は専門家ですから、事務局の答弁はいただかないといけないと思うんですけども、そういうことで委員さんが得心してくれるか、してくれんかで勝負は決まると思うんです。結果というのは、今からやっていって、みんなが良しと、全体の中で29名がそこで賛成してもらったら、前へ進むのであって、これはもう委員長報告で、そこで決まるわけですから、これ、小委員会というのは、大体出てきたことにおいてたたき台だと思っているんです。それで、全体の29名が全体の中でかけたときにおいて、それで良しということの方向づけになっていくと思うんですけども、それは、全体で29名がやりおったら、いろんな問題が出たときには前にも後ろにもいかんので、小委員会で詰めていって、委員長報告で了解とるというパターンだと思うんですけども、そこらのことを、事務局、今のことについて、どうですか。答弁できますか。できなかつたらできないと言ってくれてかまわない。そうしないと、これはなかなかよう我々、かじがとれんように思っているんですが。</p>
<p>茎田議長</p>	<p>事務局。</p>

発言者	議題・発言内容
渡部次長	<p>玉井委員のご意見なんですけれども、将来構想全体を少ないページで簡略にわかりやすくお知らせしようと思って、一生懸命考えた結果がこれなんですけれども、十分でないじゃないかというふうなことだと思いますが、一応、この要約としましては、将来構想に基づいて検証してきた内容を簡略にお伝えさせていただいておるつもりでございます。また、皆様のご意見等がいろいろあるかと思えます。各戸配布しますし、また、住民説明会の説明の資料ともいたしますので、いろんなご意見を、またそれぞれの機会ですて、建設計画に活かしていただきたいと思えます。十分な答弁でないかと思えますが。</p>
茎田議長	<p>暫時休憩します。</p> <p style="text-align: center;">（ 休 憩 ）</p>
茎田議長	<p>再開します。玉井委員。</p>
玉井委員	<p>こういうふうなデメリットもあります。そういうふうなものをもっとはっきり書いて、住民の方が考えられるような資料というか、それ文章化するのは難しいかもわかりませんから、ぜひともこれは、住民説明会とかそういうふうなところで、十分、住民の方に納得していただけるような説明の仕方ができるように、それはお願いで結構でございます。</p>
茎田議長	<p>それは助役さんが出席しておるから、十分やってくれると思いま</p>

発言者	議題・発言内容
荃田議長	す。
久門委員	ちょっと関連で。
荃田議長	久門委員。
久門委員	<p>ちょっと玉井委員は勘違いしていることが多いと思うんです。恐らく小松町の学識経験者で出られておると思うんですけど、ただ、もうちょっと具体的に言ってあげた方がいいと思うのが、私自身はこういうことだと思うんです。言いたいことを、少し私が勘違いしておるかもわかりませんよ、言わせてもらおうとね。私も、ここにめったに来ないんで申し訳ないんだけど、この新市まちづくりの全体像というこれで4ページから5ページにあるような一つの例を挙げますと、そのことを少し言いたいんだらうと思うんだけど、私は、今の合併議論というのは、こういう問題が出ておると思うんです。</p> <p>私は、西条市に住んでおりますが、住民は、市役所は西条市にできるだらうとか、議員は反対に34人なら、西条市の市議会議員が半分どうだとか、小選挙区がどうだとか、2年が延長してどう、そんな憶測で今度の合併議論というのがされておるんですね。それで、やっぱり市役所の位置はどうだとか、町民や市民の関心が非常にその方に寄ってしまっているんです。それで、もう少し、このダイジェスト版も玉井さんの場合は、具体的に明確にしてほしいと言っているんだらうと思うんです。私も、そのことはよくわかるんです。しかし、説明の仕方が悪い。それを、もうちょっと事務局にはつき</p>

発言者	議題・発言内容
久門委員	<p>りと提案してくれなかったらいかんと。</p> <p>私の考え方は、小松の助役さんも来ている。余りお上手言うんじゃないけど、私は、この大きなまちづくりを考えたら、どこよりも小松が一番得するなと思ったんです。環境という問題とか、この例えば4ページから5ページなんかがね。やっぱり我々が好きな中山川の源流はあれですけど、やっぱり小さな川にしたって、養漁場の横の川とかね、ああいう雰囲気、やっぱり石鎚をバックにとというのは、非常にいいと思います。それを玉井さんをはじめ、皆さん気がついていないと思うよ。私は合併、小松町が一番得するなと、損得で言うんですよ。その次は東予市だとかね。</p> <p>西条市は、こういうことができよるんですよ。これ、会議所なんかで議論しているのは、線引きの見直しになりますと、地価が下がるんです。それで、不動産の関係の人たちは、会議所当たりなんか喧々囂々と、何を言よんやらわからんけど、結果的に言ったら反対運動のようなものを我々に言ってくるんですね。我々は、そんな小さいことを言うなと。5年、10年先を考えて、これだけ線引きをしてもらえるならしてもらった方がいいんじゃないかと。土地が下がるでしょ。そうすると、いろんな議論をして、小松や丹原と土地の値段が変わらなくなるんじゃないかと。そうすると、自然と西条市に人口が増えるんじゃないかとかね、そんな議論をしだしたんです。しかし、それは、東予や丹原の人たちが聞くと、聞き捨てならんと思うのね。それなら私たちが合併して、西条市になんかしらん人口が行ってしまうのかとかね。そういうことの心配はあるんです。その心配をやっぱり打ち消すような、私はこのダイジェスト版に少しこころも手心を加えてやってほしい。</p>

発言者	議題・発言内容
久門委員	<p>私、はっきり言って、好きなのは丹原であったり、小松でありますから、やっぱりあれだけのすばらしい環境を抱えた、本当に純粋な農村というのは丹原ですよ。西条でもない、東予市でもないと思うね。小松というのは、あれほど石鎚山をバックにして、すばらしい、我々も考えたことがありますけど、すばらしい自然の場所があるんです。西条なんか、加茂川から、加茂川しか西条市はその敷地ないですよ。小松町にあるんですよ。そういう風光明媚なところも活かしたもう少し具体的な。東予の河原津の干拓なんかは、もう西条市から言ったらただみたいです、土地が。本当、悪いけど。この前見に行ったけど。あれだけの土地のね、広い土地があるので、あれをもっと、活かすようなものを具体的に入れてやってくれることによって、町民、市民が不安を持たないと思う。それをできたら、事務局としても、日本総研さんもおられるんだから。西条はこれだけの6万で、ある程度、基盤ができているんだから。そういうことを西条のやっぱり協議会の会長さんももう少し重点的に見ていただいたらいいし、幹事である助役さん、皆さんもその思いをはっきりと言ってくれた方がいいと思う。私は、どっちか言ったら、小松、丹原に対する配慮が西条市民が足りないんじゃないかと。市長や議員さんは知らんですよ。それで、やっぱりそういうものを踏まえた形で、玉井さん、具体的に言うてあげてくれたら、事務局としてもこの問題を直すところは直せると思うよ。</p> <p>以上です。</p>
荃田議長	今の久門委員に対して、事務局、答弁願います。

発言者	議題・発言内容
渡部次長	<p>今回の新市の将来構想につきましては、新しい市の中長期的な大きな将来像を描くというふうなことが目的で策定されたものでございまして、これをもとに、これから策定していきますので、建設計画につきましては、10年間というふうなことに具体性を持った計画をつくっていく、その中で地域性を考えて、地域の財産を考え、というふうな施策を具体化させていくというふうなことでご理解いただけたらと思います。</p>
久門委員	<p>そんな遠回しで言ったらいかんよ。きれいなことをあんたが言ってるんです。やっぱり長期も短期もないんです。市民や町民は何を知りたいかという、合併することによって、自分たちの町はどれだけのメリットがあるんかという考え方が多いんよ。議員さんは定数があるよ。町民や市民はこれはない。自分たちの町が本当によくなるんかなという、これ大事なところなんです。もうちょっと具体的に触れてやるのが。いずれ触れるんですというけど、これは、私は言い方がおかしいと思うよ。わかっているんだから。小松の町民にしてみたら、やっぱり町民の考え方を持っているんだからね。それをもう少し具体的に色付けを早くしてやってくれることによって、西条の市民は知らないですよ。あれだけの干拓、東予市の河原津の干拓。そういうことも踏まえて、もう少し具体的に小松とか丹原町のことなんかも触れてやってくれることによって、いずれやるんだというけど、今一番大事なんだから。</p> <p>以上です。</p>
荃田議長	<p>そういう意見ですから、一つ。戸田委員。</p>

発言者	議題・発言内容
戸田委員	<p>ちょっと私の方から、2人の意見と若干違うんですが、まず、玉井さんの意見は、まず一番最初に合併ありきで始まっていることか、いわゆる合併をやるのかやらないかを住民に投げかけないかの発想の違いだろうと思うんです。我々は、今まで行政として、小松町内で約10回の住民懇談会を行いました。その中では、いわゆるメリット、デメリットいろんな議論をしました。だから、私たちは、今は合併に向かってどのようなまちづくりをするんだということの前提だろうと。あくまでこれは事務局がつくって出したんではないんですね。あくまでこの小委員会で議論しながらつくられたいわゆる新市将来構想の要約版であります。だから、これに今、何やら入れ、かにやらを入れという問題では、若干違うんではないのかなという気がします。</p> <p>それと、もう1点については、久門委員さんのお話であります。あくまで具体的に入ってくるのは、新市建設計画、これは構想ですね。だから、新市建設計画には、我々も具体的に入れてほしいなと思っておるし、我々も要望していかないかなと思います。したがって、今からできてくる新市建設計画には、具体的に表現をして、できるだけやっていただきたいなと思っております。だから、あくまでこれは快適環境実感都市というのは、3月までにつくった新市将来構想の要約版であり、今、新たに要約版をつくりよるのではない。あくまで構想の要約版であるという、ダイジェスト版であるということ、ちょっと勘違いされておるのかなということはありません。</p> <p>だから、皆さんがかかわってつくってもらった構想の要約版、いわゆるダイジェスト版であるということで、最初に我々は、この合</p>



発言者	議題・発言内容
戸田委員	併協議会を立ち上げるまでに、住民との懇談会でメリット、デメリットについては、説明した。この将来構想にメリット、デメリットを入れたりする問題ではないと、私はそう考えます。
茎田議長	久門委員。
久門委員	あのね、助役さん、それは我々委員とか、議会の皆さんは認識できておるんです。この構想で入れるべきでないぐらいのことはわかるんですよ。本当の正式な今度の建設計画、ただね、やっぱり一般世論で騒がれておるのは、具体的なことを皆望んでおるんですよ。得なんだろう、損するのだろうかとかね、そういう感覚から言うと、そういうことの声を少なくするためにも、この構想の段階でも触れられるものなら、少しだけ触れておいてあげたらいいんじゃないかということですよ。
戸田委員	委員長。
茎田議長	戸田委員。
戸田委員	先般、私もこの建設計画の前半の部分の審議の中で申し上げたように、入れられることは具体的に入れてくださいというようなことも申し上げたと思います。住民が、それが一番わかりやすいんだということもお願いをしました。多分、後ほど出てくるのかなと思いますが、私も同じに思っております。

発言者	議題・発言内容
<p>茎田議長</p>	<p>特に意見がないようでございますので、審議事項 につきましては、資料のとおりとすることにいたしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>続きまして、審議事項 につきまして、事務局より説明を願います。</p> <p>事務局。</p>
<p>渡部次長</p>	<p>それでは、審議事項 についてご説明いたします。</p> <p>新市建設計画(素案)の前回以降の修正点についてでございます。新市建設計画の素案の前回の委員会審議におきまして出されました施策の方向性について、地域性が出る表現を加えた方がいい、住民の皆さんにわかりやすいなどのご意見等を参考に、修正点をお示ししております。資料の3ページでございますが、会議資料の3ページをご覧ください。</p> <p>左から修正箇所のページ、修正前、修正後としております。別冊でお配りしております新市建設計画(素案)のそれぞれの箇所の訂正を加えております。修正の内容につきましては、修正後の欄に提示しておりますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>簡単ですが、説明を終わります。</p>
<p>茎田議長</p>	<p>ただいま事務局よりご説明申し上げました審議事項 につきまして、どなたからでもご意見をいただきたいと思いますと思いますが、ございませんか。</p> <p>井上委員。</p>

発言者	議題・発言内容
井上委員	<p>先ほど戸田委員や久門委員からもありましたように、具体性に欠けた面があったのが、今度、こういう改正で、ある程度具体性が出てきたことは評価できると思います。今、言っていたように、いろいろ具体的な計画が順々に建設計画の中で出てくるんだと思いますけれども、そういうことを皆さん方に十分理解していただいて、やっぱり皆さん具体的なことに関心が一番あると思うんです。ですから、一般の皆さん方にも十分理解をしていただくような説明をしていただいておいたら、それで、今回はこれでいいんじゃないかと思います。</p>
茎田議長	<p>ほかに。ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「なし」の声あり）</p>
茎田議長 茎田議長	<p>特にないようでしたら、審議事項の「新市建設計画（素案）の修正」につきましては、資料のとおりとさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上で、本日の議題はすべて終了いたしました。</p> <p>本日の会議結果につきましては、次回、合併協議会において私の方から報告させていただきたいと考えておりますので、ご了承いただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆さんのご協力に感謝申し上げまして、議長の職をおりたいと思っております。どうもご協力ありがとうございました。</p>
真鍋局長	<p>そうしましたらここで、次回会議のご報告をさせていただきます。</p>

発言者	議題・発言内容
真鍋局長	<p data-bbox="467 286 1364 526">次回は、この5月の28日、水曜日でございます。午後1時30分から丹原町の文化会館、1階の方の小ホールです予定となっておりますので、大変お忙しいことと思いますが、また、ご出席の方、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p data-bbox="467 564 1364 667">それでは、これをもちまして、第10回会議を終了させていただきます。</p> <p data-bbox="496 705 898 734">お気をつけてお帰りください。</p>